

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4894004号  
(P4894004)

(45) 発行日 平成24年3月7日(2012.3.7)

(24) 登録日 平成24年1月6日(2012.1.6)

(51) Int. Cl.

F 1

GO 1 N 21/76 (2006.01)

GO 1 N 21/76

請求項の数 10 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2007-76513 (P2007-76513)	(73) 特許権者	806000011
(22) 出願日	平成19年3月23日(2007.3.23)		財団法人岡山県産業振興財団
(65) 公開番号	特開2008-233005 (P2008-233005A)		岡山県岡山市北区芳賀5301
(43) 公開日	平成20年10月2日(2008.10.2)	(74) 代理人	100113181
審査請求日	平成22年2月5日(2010.2.5)		弁理士 中務 茂樹
		(74) 代理人	100114535
			弁理士 森 寿夫
		(74) 代理人	100075960
			弁理士 森 廣三郎
		(74) 代理人	100126697
			弁理士 松浦 瑞枝
		(72) 発明者	中川 益生
			岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 尿素濃度測定方法及び尿素濃度測定装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

試料溶液の尿素濃度を測定する尿素濃度測定方法であって、作用電極及び対電極を配置した容器の中に、ハロゲンイオンを含む水溶液及び尿素を含む試料溶液を導入して、作用電極及び対電極の間に電流を流し、電気分解により系中で発生した次亜ハロゲン酸イオンと尿素とが反応することにより生じた化学発光を計測して尿素濃度を定量することを特徴とする尿素濃度測定方法。

【請求項2】

試料溶液の尿素濃度を測定する尿素濃度測定方法であって、作用電極及び対電極を配置した容器の中に、ハロゲンイオンを含む水溶液を導入して、作用電極及び対電極の間に電流を流し、その後に尿素が含まれる試料溶液を導入し、電気分解により系中で発生した次亜ハロゲン酸イオンと尿素とが反応することにより生じた化学発光を計測して尿素濃度を定量することを特徴とする尿素濃度測定方法。

【請求項3】

試料溶液の尿素濃度を測定する尿素濃度測定方法であって、作用電極及び対電極を配置した容器の中に、ハロゲンイオン及び尿素を含む試料溶液を導入して、作用電極及び対電極の間に電流を流し、電気分解により系中で発生した次亜ハロゲン酸イオンと尿素とが反応することにより生じた化学発光を計測して尿素濃度を定量することを特徴とする尿素濃度測定方法。

【請求項4】

10

20